

HOPE^{plus}

【市立芦屋病院だより】



新任Drのご紹介

4月より新たな医師が着任しました。
患者さんの意思を尊重し、最善の医療と癒しを提供します。



みやた ひろみ

宮田 明未

専門分野

一般産婦人科
内視鏡手術、周産期

趣味

旅行

先生から一言！

4月から産婦人科に赴任いたしました。これまで子宮筋腫や卵巣腫瘍などの良性腫瘍、子宮がんや卵巣がんなどの悪性腫瘍、周産期医療と幅広い診療に携わってきました。芦屋病院では腹腔鏡手術や薬物療法を中心に患者様のご希望に沿った治療を提供できればと考えています。お気軽にご相談ください。どうぞ宜しくお願いいたします。



ませ こうし

間瀬 浩史

専門分野

糖尿病内科

趣味

スポーツ観戦

先生から一言！

昨年7月より非常勤医師として糖尿病・内分泌内科に赴任しております間瀬浩史です。この4月より常勤医師となりました。以前は呼吸器内科医として、悪性腫瘍、良性肺疾患、禁煙治療などの診療に携わっておりました。領域は変わりますが、皆様のお力になれるよう志は変わらず、診療にあたりたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。



臨床研修医

まつなみ しゅうへい

松浪 周平

専門分野

救急科、外科

趣味

筋トレ

先生から一言！

はじめまして、4月より外科に赴任します松浪周平です。これまでは救急医として、救急車で運ばれてくる患者さんの診療やICUでの集中治療に従事して参りました。

外科医として働くのは初めてですが、一刻も早く皆様のお力になれるよう精進して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



臨床研修医

すけなが ただひこ

助 永 匡比古

専門分野

糖尿病内科

趣味

テニス

先生から一言！

4月より糖尿病・内分泌内科に赴任しました助永です。糖尿病は慢性疾患であり、患者さんと二人三脚で治療にあたるのが重要であると考えています。

患者さんの社会的背景を考えながら有効かつ継続可能な治療を提供できるよう努力します。よろしくお願い申し上げます。

外科のご紹介

一般消化器外科を中心に安全で良質な手術の提供に努めています

外科スタッフは水谷副院長を含めて7名体制で、一般消化器外科(胃がん、大腸がんをはじめとする上下部消化管、肛門、肝胆膵、ヘルニアなど)、内分泌外科(乳腺、甲状腺、副腎など)、呼吸器外科(気胸など)の手術を行っています。外科の年間手術症例数は約542例(平成27年度実績)であり、うち腹腔鏡手術数は162例です。腹腔鏡技術認定医の資格を持つ医師も在籍しており、安全で良質な手術の提供に努めています。

教えてDr!

「大腸がんについて」

外科次長 村上 雅一

大腸がんは現在日本で増加しているがんの1つです。その罹患率は高齢者では男性3位、女性では1位になっています。大腸がんは初期には症状がなく、痛みなどありません。腹痛や血便などが起こるのはがんが相当進んでからです。症状が出て

そのまま放置しておくと、お腹が痛い・張る、嘔吐する、おならや便が全く出なくなる「腸閉塞」という状態になり、緊急手術を必要とするような場合も起こりえます。

大腸がんは消化器のがんの中では比較的ゆっくり進むことが多く、早期に手術を行えば根治できる可能性も高いがんです。また、粘膜内のがんであれば、手術を行わずに内視鏡で切除できる場合もあります。

当院の外科では、大腸がんの手術は腹腔鏡手術を積極的に行っています。腹腔鏡手術は、術後の痛みが少ない、体の回復が早い、創が小さく目立ちにくいなどのメリットがあり、手術を受けられた患者さんから喜ばれております。

ただし、**大腸がんを根治するためにはやはり早期発見が重要**です。特にこれまで検査をされたことがない方は、まず比較的簡単にできる便潜血検査を検診や人間ドックで受けられることを強くお勧めします。



外科メンバー
後列左から：田守医師・佐々木医師・浦野医師
前列左から：三方部長・水谷副院長・村上次長

各種行事のお知らせ

春の公開講座



4月の公開講座は、
西浦病院長による講演です！
ぜひ皆さんお越し下さい。



時間●14時～15時30分 場所●芦屋市民センター401号室 参加費●1回200円

日程	内容	講師
4月8日(土)	健やかな老後をめざして	病院長 西浦 哲雄 医師
5月13日(土)	下肢静脈瘤のお話	外科 田守 登茂治 医師
6月3日(土)	高齢者と骨折 ～転倒予防運動を交えて～	整形外科 大西 雅之 医師

糖尿病教室

問合せ先：
栄養管理室

※毎月第2金曜日開催

時間 13時30分～15時 場所 病棟2階 講堂I 参加費 無料

日程	内容	講師
4月14日(金)	糖尿病治療・療養について	医師・看護師・薬剤師ほか
5月12日(金)	食事療法の基本！食品交換表を中心に 糖尿病の薬物療法(内服薬)について	管理栄養士 薬剤師
6月9日(金)	自己血糖測定について 運動療法・熱中症対策について ※血糖測定器点検会があります。	臨床検査技師 理学療法士 看護師

両親学級

※毎月第2土曜日開催

- 日時● 4月8日(土)10時～12時
- 場所● 3階東病棟
- 内容● お産の経過・赤ちゃんとお風呂
- 対象● 妊娠22週以降の妊婦とパートナー5組
- 問合せ● 産婦人科外来
(電話は13時～16時)



産婦人科のご紹介

女性泌尿器疾患と良性腫瘍に対する
腹腔鏡手術に力を注いでいます

市立芦屋病院は、現在、骨盤臓器脱や尿失禁といった女性泌尿器疾患と、子宮筋腫や卵巣嚢腫などに対する腹腔鏡手術に力を注いでいます。

骨盤臓器脱について

腔から子宮が脱出(子宮脱)したり膀胱が下垂(膀胱瘤)したりする疾患を総称して骨盤臓器脱と呼びます。骨盤臓器脱は、命にかかわることはありませんが、生活の質を落とします。高齢化にともない、ますます増えると言われており、海外のデータでは女性の約1-2割が手術受けると言われています。普通にみられる病気なのですが、陰部のことなので、誰にも相談できず一人で悩んでいる方が非常に多いことも知られています。当院では、骨盤臓器脱に対し最新の治療・手術を行っており、平成22年4月以降、受診された患者数は600名を超え、手術数も450例を超えました。(図1)

腹腔鏡手術について

低侵襲手術(小さな傷で、痛みが少ない手術)の代表が腹腔鏡手術です。今までは、大きくお腹を切っていた子宮筋腫や卵巣嚢腫などの婦人科良性疾患のほとんどに対し腹腔鏡手術を行っており、年々手術件数が増えています。(図2)

当院には錢医師、宮田医師といった婦人科腹腔鏡技術認定医が2名在籍しており、良質で安全な手術提供を行っています。平成27年からは婦人科腹腔鏡認定施設となり、今後も患者さんの安心感や満足度を高められるよう、診断、治療を行ってまいります。

腔から何かが出てきている病気(骨盤臓器脱)でお困りの方や、子宮筋腫、卵巣嚢腫で手術が必要といわれた方は、ぜひ市立芦屋病院でご相談ください。

写真左から、錢医師・木村部長



図 1

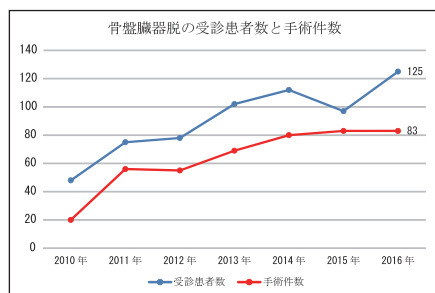
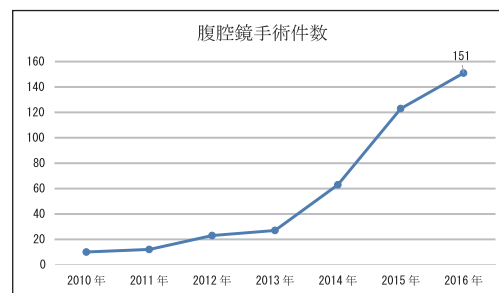


図 2



職 員 紹 介

祝
20周年

マチネーコンサート

マチネーコンサートは4月に228回を迎えます。これまでの沢山の演奏者の高い技術に支えられた音、その流暢な話術による笑い、躍動感と笑顔溢れる会場の雰囲気が一番癒やされているのは私かもしれません。支えて下さる皆様と末長く続けられますように…。

ピアニスト・金澤佳代子

芦屋病院 マチネーコンサート

- 日時 ● 4月23日(日)14時30分～
- 場所 ● 外来4Fホール 黄色いピアノ前
- 内容 ● 甲南OG女声アンサンブルの魅力
- 出演 ● 女声アンサンブル・モカ
長谷川いずみ(ピアノ)

マチネーコンサートは、毎月1回日曜日に開催しています。皆様のお越しをお待ちしています。

臨床心理士 について

緩和ケア内科 臨床心理士 金井 菜穂子

臨床心理士とは、日本臨床心理士資格認定協会により資格認定を受けた「こころの専門家」です。市立芦屋病院では、緩和ケア内科・緩和ケアチームに所属しており、がん患者さんだけでなく、他科の方ともお会いしています。病気と診断された時や、治療方針が大きく変更となった時、混乱した時に立ち止まって気持ちについて考え、対処するお手伝いをさせて頂くことが役割の一つです。患者さんを支えるご家族も悩まれる場合があります。入院患者さんやご家族、パートナーの方々が、納得して気持ちよく治療を継続できるような環境作りのお手伝いを、多職種と連携して行っていきたいと考えています。

事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院事業管理者 佐治 文隆

卵の花のすすめ

睦月(むつき)、如月(きさらぎ)、弥生(やよい)があったという間に過ぎ去り、卯月(うづき)(和暦4月)を迎えました。4月を「卯月」と名付けた理由は、一説には十二支の四番目が「卯」だからと言い、他説には稲を植える月「植月(うえつき)」から転じたとも言われ、最も有力なのは「卵の花の咲く月」を語源とするものです。卵の花はアジサイ科の低木「うづぎ」に咲く花で、この季節に多数の白い花を咲かせます。「うづぎ」は茎が中空なので、漢字では「空木」が当てられています。宮中で神事に使われた卯杖(うづえ)や卯鎚(うづち)は、その字面からてっきり空木で作られたものと思っていましたが、私のまったく思い違いでした。卯杖は柁・桃・梅・柳・棗(なつめ)などの木からなる杖で、卯鎚は桃の木を素材にした小槌で、いずれも邪気を祓う道具として用いられました。

「卵の花」と言えば庶民が真っ先に思い浮かべるのは「おから」です。大豆から豆乳を絞った際の搾カス、文字通り「がら(から)」に丁寧語をつけて「おから」と名付けられました。「から」が「空」に通じてゲンが悪いことから言い替えられて、「卵の花」「雪花菜(きらず)」と呼ばれ、興行界では「空(席)」を嫌って「大入り(おおいり)」などとふざけた命名をしています。日本豆腐協会(2011年)によると、豆腐製造に使われる年間大豆使用量は約49万トンで、水を加えて製造することから約66万トンものおからが発生します。そのうち食料に利用されるのは1%以下で、約90%が飼料や肥料に使われますが、残りの大部分が捨てられます。最高裁判所は廃棄される「おから」を産業廃棄物と判定し(1999年「おから裁判」)、適正に処理するよう義務づけました。したがって豆腐のコストを下げるためにも、環境負荷を減

らすためにも、「おから」の食料利用が推奨されます。

搾カスとはいえ「おから」にはかなりの栄養成分が残っています。タンパク質や脂質に加え、食物繊維に富む炭水化物が含まれ、栄養学的には魅力的な食品です。しかもイソフラボン(isoflavone)というポリフェノールの一種が含まれています。イソフラボンとは女性らしさを保つホルモンのエストロゲンに似た作用を持ち、植物性エストロゲンとも呼ばれます。欧米人に比べて日本人に骨粗鬆症が少ないのは、豆腐を常食としているからではないかと言われるほどです。植物性エストロゲンは薬物として摂取するエストロゲンに比較し、乳がんなどのリスクもほとんどありません。更年期症状の改善にも有効です。卵の花料理には、すし飯におからを使ってコハダなどのネタをのせた卵の花鮎なども凝っていますが、定番はやはり炒り煮でしょう。家庭料理なのでおふくろの味の一つです。美味しくするコツは、水分をとばすこと、よい出汁を使うこと、具を工夫することに尽きるようです。

卵の花の開花は新暦では5月から6月にかけてです。この季節はせっかく咲いた卵の花も腐らせてしまうほどの「卵の花腐し(うのはなくたし)」といわれる長雨の季節でもあります。今のうちに陽春をうんと楽しみましょう。

(2017.4.1)



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

市立芦屋病院 ご案内



※ 病院ネットワークバスもご利用ください 無料

交通案内

JR 芦屋駅、
阪急芦屋川駅から



タクシー
約7分



バス
約25分
JR芦屋駅、阪急芦屋川駅のりば2番



徒歩
約30分

市立芦屋病院の理念

病院理念

あい(愛)・しあわせ(幸福)・やさしさ(優しさ)

基本理念

芦屋市の中核病院として 地域社会に貢献します
患者の意思を尊重し 最善の医療と癒しを提供します



日本医療機能評価機構 認定施設(3rdG:Ver1.0 一般病院2)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1

TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822

ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>